

気候危機ーパリ協定の「1.5℃目標」を失わないために
COP27からG7、そしてCOP28へ

ジェンダーと人権の視点から気候変動を考える

2023年4月7日（金）

（一財）アジア・太平洋人権情報センター（ヒューライツ大阪）

（特活）関西NGO協議会

三輪 敦子

本日のトピック

- 女性と環境の関わり：気候変動とジェンダー？
- ジェンダー×気候危機・災害
- ジェンダーと気候危機に関する世界の状況
- COPとジェンダー
- 新しい動き：スイス女性による欧州人権裁判所への提訴

女性と環境の関わり

- 家に水道設備がない世帯の80%では、**家族が使う水の確保**は女性の役割です。インドやネパールに行くと、頭の上に水瓶をのせて山道を延々と歩く女性や少女に出会います。水瓶には20リットルほどの水が入ります。日本で生まれ育った私たちには男女を問わず持ち上げることさえ困難です。
- **家庭で使う燃料である薪**を集めてくるのも、多くの場所で女性の仕事です。
- 特にアフリカの農村部では、**家族の食料確保**に責任をもつのは女性です。家の周囲の場所で、家族が食べる食料を生産してきました。気候変動による異常気象が自然資源を枯渇させ、農業生産に大きな影響を与えています。干ばつや洪水により食料確保が難しくなっている場所が増えています。



ニューズウィーク日本版ウェブ記事より
<https://toyokeizai.net/articles/-/230773>

ジェンダー×気候危機・災害

- 環境の悪化により水源が枯渇したり、気候危機による災害により水・衛生設備が破壊されると、水の確保が困難になり、**女性の労働負担**が増します。
- 水が十分に確保できなくなりトイレ等の衛生環境が悪化すると、家族の健康が影響を受けますが、特に女性と少女の**健康そして安全**がより脅かされることになります。
- 気候災害により日常生活が破壊されると、女性と少女はこれまで以上に家庭内の**ケアワーク**を背負うことになります。男性が出稼ぎを選び家を出ることもあります。
- これらは結果的に女性の**教育、雇用等の機会喪失**につながり、女性の生活や少女の可能性に大きな影響を与えます。特にシングルマザーや障害女性への影響は深刻。
- 災害による雇用・安心できる場所の喪失や家族のストレスが**女性と少女への暴力**にむすびつくことがあります。避難所生活では食事の準備が女性だけにまかされたり（**ケア負担**）、安心して着替えや授乳ができないことも起こります（**プライバシー**）。

「トイレのない人々の健康と生活が気候変動でより深刻に」

(1分38秒)

ウォーターエイド・ジャパン制作

<https://www.youtube.com/watch?v=aP0M0ZQ7YR4>

国連によると、インドでは約5億人が屋外で人の目に触れる場所で排泄をしています。女性にとっては決して望ましくない状態です。水分を取らないようにして排泄回数を少なくしようとする女性たちもいて、結果として女性の健康悪化に結びつきます。人目につかないように、夜間を選んで排泄する女性も多いですが、それは性的暴力の危険と隣り合わせです。

ジェンダーと気候危機に関する世界の状況

- 水、食料、燃料へのアクセス悪化→**女性の負担増加**
- 干ばつ・洪水等による**農業労働（不安定・出来高払い・季節的）の一層の不安定化**
- 女性の労働負担が増すと少女が母親を助けることになる→**留年や退学**
- 経済的な困窮がもたらす**人身売買や幼児婚リスク**の増大
- **防災関連情報へのアクセスと行動**：教育機会が限られていて識字能力が低い女性には情報が届かないことがあります。「警戒レベル5」って？ 移動の自由の制限や自分のことを後回しにする習慣が理由になり、逃げ遅れることもあります。
- 災害からの復興プロセスでは**支援から女性が排除**される場合もあります。
- **気候危機は「脅威を増幅させる（threat multiplier）」**：既にパンデミックと紛争という三重苦的状況があるなかで女性と少女への影響がさらに深刻です。

COPとジェンダー

- 2021年11月に英国グラスゴーで開催されたCOP26（気候変動枠組条約の26回目の締約国会議）
- 条約の専門家パネルが「地球温暖化は人間の活動に原因がある」と科学的に認定した報告書を2021年8月に出してから初めてのCOPでした。
- 国連のグテーレス事務総長は1.5度目標に向けて変革が起こせないなら、地球と私たちへの「死刑宣告」になると強調。
- オープニングでは女性、**特に途上国のユース女性たちが次々に登壇**して気候危機を訴えました。「子どもを産んでいいのかどうか躊躇する」「先祖から受け継いだ土地がなくなる」「水がない」「干ばつと洪水が繰り返し襲ってきて食料が生産できない」．．．
- ですがCOP25（2020年）の**代表団に占める女性の割合は25%**。

最近の動きから

- **スイス女性2000人の提訴：**「スイス政府の気候変動政策は生命と健康への権利を侵害している」と欧州人権裁判所に提訴。気候変動と人権の関係を問う初の訴え。6年にわたるスイス政府への訴えが功を奏さなかったことが理由。「気候高齢者クラブ（Club of Climate Seniors）」平均年齢73歳の女性たち。スイス政府に対し地球温暖化ガスの排出を減らす判決を出すことを求め提訴。「高齢者の健康がより危険にさらされている」。過去20年間で65歳以上人口の死亡率が30%増加というデータ。（3月29日）
- **国連におけるヴァヌアツ提案決議：**気候危機に責任がある各国の課題解決への貢献に関し国際司法裁判所（ICJ）からの勧告的意見を求める決議（気候正義の訴え）。総会により全会一致で採択。ヴァヌアツとユースの努力。ヴァヌアツ首相「人権と世代間の衡平の実現への第一歩」。法学部の学生たちから成るユース組織代表の女性「熱帯サイクロン、洪水、生物多様性の喪失、海面上昇等の問題をつくったのは私たちではない」。（3月29日）



まとめ

- 気候危機は、女性と少女に、**男性とは異なる形で深刻な影響**を与えています。
- 気候危機は、**女性と少女の教育機会、健康、生計手段、雇用等**、すべてに影響を与えています。それらは**女性と少女の人権の問題**でもあります。
- ですが、COPのような場でも**意思決定**に関われる女性はいまだに限られています。
- **女性と少女の経験と声が気候危機対策に反映されること、システムチェンジの主体となること**が、地球の環境、そして続く未来にとって決定的に重要です。
- **交差性・複合差別を念頭に置いた対応**にも目を向ける必要があります。（ジェンダー×障害、ジェンダー×先住民族、ジェンダー×国籍、ジェンダー×世系、ジェンダー×高齢者．．．）

ご案内

- G7に声を届けるために**C7 (Civil 7) サミット**でも気候危機の問題が話し合われます。

ウェブサイト：<https://civil7.org>

参加登録フォーム：

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSeYes0BzQBvm_Tcbzs2mUhP99MnXhbppdJmfSBvUWR8Yh-buA/viewform

- **気候変動・危機**が扱われるのは以下の2セッションです。

4月13日（木） 10:00-12:00：気候・環境正義

4月14日（金） 10:00-12:00：気候危機に抗する緊急性と環境配慮の両立のために

- **4月16日（日）のW7 (Women 7)サミット**にも、是非、ご参加ください！
- <https://women7.org/news/w7-summit-registration-is-now-open-join-us-for-the-w7-summit-on-sunday-april-16-at-the-center-of-tokyo/>

「気候変動とジェンダー」の関係を知る ～SDGsを切り口に～

